

発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙 10307-3/電話 0261-82-3100）

白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

## 白馬村・小谷村の小学生の現地見学会を開催しました

小谷村、白馬村の小学生を対象に、砂防施設の現地見学会を開催しました。これは、国土交通省松本砂防事務所の協力を得ながら毎年この時期に行っているものです。

今年は、9月27日(火)に白馬南小学校、9月30日(金)に小谷小学校、10月5日(水)に白馬北小学校という日程で取り行いました。台風なども心配されましたが、おかげさまで好天に恵まれ、全て滞りなく行うことができました。

見学会では、土砂災害とはどういったものかをパネルや模型実験を交えて学習し、その後工事現場を見学しながら砂防事業の役割を学びました。



土石流の模型実験を実演中（白馬南小）



イワナの放流体験（白馬北小）

また、この学習に併せて、白馬南小学校、白馬北小学校の皆さんはイワナの放流を体験しました。これは、環境に配慮するために砂防事業の一環として行われるもので、活きのいいイワナを見て小学生の皆さんはとても楽しそうでした。



重機の遠隔操作体験（小谷小）



砂防工事の説明状況（小谷小）

一方、小谷村小学校の皆さんは無人の重機の遠隔操作を体験しました。これは土石流や斜面崩落等の危険が高い工事現場で使われている技術で、土砂を掘るショベルカーや土砂を運ぶダンプカーを離れた場所から無線操縦機で嬉しそうに操っていました。

さらに、今回参加いただいた小学生に「砂防カード」というものを特別に配布しました。これは、長野県治水砂防協会姫川支部で今年9月に全国で初めて発行されたばかりの貴重なカードです。これを機に砂防施設に興味を持っていただけたら幸いです。

## 白馬村・小谷村との意見交換会で事業の情報を共有しました

10月3日に白馬村役場で、10月17日には小谷村役場で、砂防事業を円滑に実施するために、村の担当者との意見交換会を開催いたしました。

この意見交換会は5月にも実施していますが、秋の意見交換会では、姫川砂防事務所から当年度事業の進捗



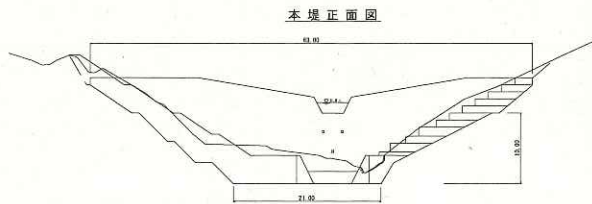
状況及び春の要望箇所の対応状況を説明し、村からは新たな地域住民の要望について説明を受けました。

それぞれの地域の個別箇所について、現地の最新の状況を情報交換しながら、事業施行上の課題、解決方法、今後の進め方などを協議しました。

新たな要望箇所については、当日意見交換会終了後直ちに、現場に行って確認を行いました。緊急性・必要性の高い箇所については、速やかに対応していきます。

## 現場紹介 No4 (シリーズ) 平成28年度 防災・安全交付金(通常砂防)工事 (砂)どうろく沢 白馬村 南谷地

当現場は、白馬村にある1998年長野冬季オリンピック/パラリンピックのクロスカントリー競技会場となったコースの近くに 있습니다。今年の10月から工事を始め、来年の12月に竣工する予定です。



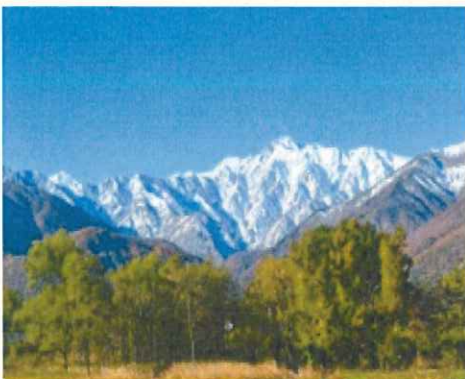
砂防えん堤 長さ 63.0m 高さ 10.0m(水通しまで)  
体積約 2,000m<sup>3</sup>



現場代理人  
宮川 佳久 氏  
(株)姫川建設

この工事では予期できない土砂災害から、地域住民の生活を守るため砂防えん堤を建設します。砂防えん堤工事の経験はまだ浅いですが、来年の冬までに完成できるように頑張りますので、色々ご指導お願いします。

## 季節の写真



白馬村から見る五竜岳です。初雪の白、広葉樹の紅葉の赤、針葉樹の緑色の三色が織りなす「白馬三段紅葉」です。

昨年10月下旬の小谷村白馬乗鞍から見た白馬三山です。山の上部は白く雪化粧しています。

